

ポイント  
2

しよじゆつぶん ちよくせつ あらわ  
叙述文（会話が直接に表れない文）

しょうろんぶん  
小論文ではふつう、ある人が話した言葉を「 」の中に入れてそのまま書く方法  
ちよくせつ わほう  
（直接話法）は使いません。「 」は使わず、ある人が言った言葉の内容だけを伝える  
かんせつ わほう  
ような書き方（間接話法）をするのが一般的です。

直接話法の例1（小説）

かれ  
彼はポケットから薬の包みを出して、グラスに入れ、ポッコちゃんの前に押しやった。

「飲むかい」

「飲むわ」

彼の見つめている前で、ポッコちゃんは飲んだ。

彼は「勝手に死んだらいいさ」と言い、「勝手に死ぬわ」の声を背に、マスターに金を渡して、そとに出た。夜はふけていた。

（星新一『ポッコちゃん』新潮文庫）

直接話法の例2（エッセイ）

「おばあちゃんは今までつらかったことと楽しかったことと、どっちが多かった？」

むすめ そぼ  
娘が祖母（わたしの母）に他愛のない質問をした。今年93歳、一人暮らし。老いて  
けいけん  
からもつらい経験をした母である。

「そうねえ、つらかったことは早く忘れちゃおう、と思うでしょ。だから、もうみんな  
わす  
忘れた。楽しかったことは何度も思い出して楽しむの。今まで楽しかったことばかりだっ  
たような気がする。」

二人のやり取りをそばで聞いていて胸が熱くなった。なんとめでたい忘れ方だろう。

間接話法の例1（小論文）

80歳以上の人たちに今までの人生でつらかったことと楽しかったことと、どちらを  
よく思い出すかと尋ねてみた。すると、72%の人が楽しかったことの方をよく思い出  
すと答えた。つらかったことの記憶は年々うすくなると答えた人もいた。

3

モードチェンジ  
話し言葉から書き言葉へ

かんせつ わ ほう れい しょうろんぶん  
 間接話法の例2 (小論文)

たばこについて、ある人は健康けんこうによくないことがわかっているのだから法律ほうりつで禁止きんしすべきだと言う。またある人はたばこを吸すうのは個人こじんの自由じゆうなのだから法律で禁止で  
 きないと思うと言う。両者りょうしゃの意見いけんについて考え、解決策かいけつさくを検討けんとうしよう。

ちよくせつ わ ほう  
 直接話法から間接話法へ

直接話法	間接話法
「 」と…。	～と…。
「間投詞 <small>かんとうし</small> (さあ、ああ など)」がある 「終助詞 <small>しゅうじょし</small> (ね、よ など)」がある	間投詞はない 終助詞はない
「丁寧体・普通体 <small>ていねいたい ふつうたい</small> 」 「～てください」「～ないでください」 「命令形・禁止の命令形 <small>めいれいけい きんし</small> 」 「質問の文 <small>しつもん</small> 」	普通形 ～てほしい ～ないでほしい ～ように ～ないように ～かどうか 疑問詞 <small>ぎもんし</small> ～か

練習2-1

例のように間接話法を使った文にきなさい。

例 田中「近くにポストがありますか。」

交番こうばんの人「はい。駅の前にあります。」

→田中さんは交番の人に近くに ポストがあるかどうか 聞いた。交番の人は 駅の  
前にある と答えた。

1. 山田「映画、おもしろかった？」

中山「ううん、つまんなかった。」

→山田さんは中山さんに映画が \_\_\_\_\_ 聞いた。中山さん  
 は \_\_\_\_\_ と答えた。

2. 親「遊ぶ前に勉強しなさいよ。」

子「宿題はもうしたよ。」

→親は \_\_\_\_\_ に \_\_\_\_\_ 言った。子は \_\_\_\_\_ と  
答えた。

3. 小林「お宅のばら、きれいねえ。」

田中「そう？ ありがとう。」

→小林さんは \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_ が \_\_\_\_\_ とほめた。田中さんは  
\_\_\_\_\_ 礼を言った。

4. 先生「みなさん、連休前に試験がありますよ。」

学生「え！ 何の試験ですか。」

→先生が \_\_\_\_\_ と言った。学生は \_\_\_\_\_ 聞いた。  
\_\_\_\_\_ た。

5. 妻「ねえ、たばこ、吸わないでよ。」

夫「うん、わかったよ。」

→妻は夫に \_\_\_\_\_ と言った。夫は \_\_\_\_\_ と答  
えた。

6. 佐藤「ああ、コーヒーマーカーがほしいなあ。」

田中「じゃ、君の誕生日にプレゼントするよ。」

→佐藤さんが \_\_\_\_\_ と言った。それを聞いて田中さんが \_\_\_\_\_ の  
誕生日に \_\_\_\_\_ と言った。

7. 中山「村上春樹という作家をご存じですか。」

リー「ええ。彼は有名ですから。」

→中山さんはリーさんに \_\_\_\_\_ 聞いた。リーさんは  
\_\_\_\_\_ から \_\_\_\_\_ と答えた。

8. 学生「先生、もう一度説明してください。」

→学生は先生に.....と頼んだ。

練習 2-2

つぎ 次の会話を読んで、その場所、もの、人を説明する文を書きなさい。

例 A: 大きいりんごですね。あ、いい香りがしますね。

B: ええ、これは青森県産で、「ふじ」という種類です。色はあまりきれいじゃないけど、おいしいですよ。

A: 一ついくらですか。

B: 170円です。

→ これは青森県産の「ふじ」というりんごである。色はあまりきれいではないが、大きくていい香りがする。一つ170円である。

1. A: わあ、大きい本屋だなあ。7階まであるね。

B: そう、本が分野ごとに別々の階に置いてあるの。

A: 本のお金はどこで払うの? 各階にカウンターがあるの?

B: 買いたい本をかごに入れて1階のカウンターに持っていけばいいのよ。

→ .....

2. A: パパ、ここが動物といっしょに遊べる広場?

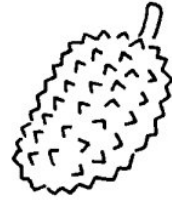
B: そう。いろんな動物がいるよ。うさぎとか、やぎとか…。抱いたりなでたりしていいんだよ。

A: 食べ物をあげてもいいの?

B: それはやっぱりだめでしょう。おなかを壊すといけないからね。

→ .....

3. A: <sup>はじめ</sup>初めて見るけど、何、これ？ すごいおいね。  
B: 「ドリアン」というんだよ。 <sup>げんさんち</sup>原産地\*は <sup>はんとう</sup>マレー半島。  
A: 食べられるの？



B: もちろん食べられるさ。 <sup>あま</sup>甘くておいしいよ。におい  
が強く <sup>きら</sup>嫌いだという人もいるけど、「 <sup>くだもの</sup>果物の <sup>おうさま</sup>王様」と言う人もいるんだよ。

\*原産地 place of origin 原产地 원산지

→  
.....  
.....  
.....

4. A: あの人は田中さんですね。この間何かの <sup>しょう</sup>賞をもらいましたよね。  
B: ええ。一人暮らしの <sup>こうれいしゃ</sup>高齢者の <sup>せいかつ</sup>生活を聞いてまわって、いい <sup>はっぴょう</sup>レポートを <sup>はっぴょう</sup>発表した  
んですよ。  
A: そうですか。お <sup>わか</sup>若く見えるけど、何 <sup>なんさい</sup>歳ぐらいかしら。  
B: 78 <sup>さい</sup>歳ですよ。ご <sup>ほんにん</sup>本人も一人暮らしだそうですよ。

→  
.....  
.....  
.....

5. A: 4LDK か…。この家いいね。 <sup>しんちく</sup>新築じゃないけど <sup>へや</sup>部屋が四つもあるし…。  
B: 駅から15分？ ちょっと不便じゃない？  
A: でも、近くにスーパーもあるし、 <sup>こうえん</sup>公園もあるし、小学校も近いし、子どもを <sup>そだ</sup>育  
てるにはいい <sup>かんきょう</sup>環境だよ。 <sup>せま</sup>狭いけど <sup>にわ</sup>庭もついでる…。  
B: <sup>ねだん</sup>値段がねえ…。  
A: 4,860万円！ 高いねえ。

→  
.....  
.....  
.....

3

モードチェンジ  
話し言葉から書き言葉へ